



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン

上場取引所 東

コード番号 9832 URL <https://www.autobacs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 喜夫巳

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 高野 浩之 TEL 03-6219-8787

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	171,434	△2.9	10,467	18.0	11,280	19.1	7,371	18.2
2020年3月期第3四半期	176,639	6.5	8,871	24.2	9,475	19.5	6,237	33.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 8,645百万円 (28.7%) 2020年3月期第3四半期 6,718百万円 (59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	92.31	—
2020年3月期第3四半期	78.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	209,809	123,693	58.5	1,538.04
2020年3月期	172,799	119,966	69.0	1,493.43

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 122,833百万円 2020年3月期 119,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,800	1.1	7,600	0.2	8,100	0.5	5,500	46.1	68.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	84,050,105株	2020年3月期	84,050,105株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,186,572株	2020年3月期	4,199,076株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	79,858,526株	2020年3月期3Q	79,940,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。個人消費においては、持ち直しの動きが見られるものの、感染の再拡大に伴い先行き不透明な状況で推移しております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、2020年5月25日の緊急事態宣言解除後、自動車販売が徐々に持ち直し、中古車販売においては、6月以降、概ね前年水準以上で推移し、新車販売も10月以降の登録台数が前年同月上回り回復傾向となりました。カー用品関連においても、車の利用頻度向上を背景に順調に推移いたしました。

当社グループにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、ご来店される地域の皆様、お取引先様、従事する従業員の健康と安全を最優先に、安心してご来店、就業できる環境整備に努めております。4～5月においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上は大きく減少いたしました。6月以降は、各セグメントに差はあるものの、回復傾向となりました。また、必要な投資は維持しつつ販売費及び一般管理費の削減に努めました。

当社ではこのような環境においても、需要の変化に対応し、地域のお客様に寄り添い地域社会に貢献し続けるため、当社グループの方向性を示す「5ヵ年ローリングプラン」に基づき、お客様がクルマを利用するシーンに合ったサービスを提供するための「6つのネットワーク」の確立と連携に向け各施策を実行し、さらなる事業の成長を目指し邁進しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.9%減少の1,714億34百万円、売上総利益は前年同期比0.2%減少の561億12百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比3.6%減少の456億45百万円、営業利益は前年同期比18.0%増加の104億67百万円、経常利益は前年同期比19.1%増加の112億80百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比18.2%増加の73億71百万円となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

〔国内オートバックス事業〕

当第3四半期連結累計期間における国内オートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店1.4%の減少、全店1.5%の減少となりました。

国内オートバックスチェーンでは、緊急事態宣言下においても、車は生活する上で重要なインフラであることから、お客様の安心・安全な車生活を守るため、お客様と従業員の接触機会を最小限にするなど、感染拡大防止に最大限配慮し、営業活動を継続いたしました。引き続き感染拡大防止に努めております。

4～5月においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響を受け、売上は大きく減少いたしました。6月以降は、車のメンテナンス需要や洗車関連用品などを中心に客数・売上ともに回復いたしました。9月においては、前年同月が消費増税やタイヤ値上げ前の特需により大きく売上が伸長した反動で、今期は大きく前年を下回りましたが、10月以降は前年を上回る売上となりました。特に12月は寒波により冬季用品の需要が拡大したことなどにより、大きく前年を上回りました。

タイヤにつきましては、外出自粛により4～5月の売上が大きく減少し、6月は需要のずれ込みにより前年を上回りましたが、7～9月は県をまたいだ移動の自粛などによるロングドライブを控える傾向と、前年10月のタイヤ値上げ前の特需の反動で前年を下回りました。一方で、10月以降においては前年を上回り、特に12月は寒波による広範囲な降雪があり、スタッドレスタイヤが伸長いたしました。カーエレクトロニクスにつきましては、主にカーナビゲーションにおいて、新車販売の影響を受け、4～5月は大きく減少いたしました。10月からは増加いたしました。また、6月末に施行されたあおり運転罰則強化を受け、7月以降のドライブレコーダーの需要は回復傾向となりました。バッテリーにつきましては、販売好調であった3年前の新車が交換サイクルを迎えていることなどにより、アイドリングストップ車用バッテリーを中心に伸長いたしました。加えて、車の利用頻度向上などを背景に洗車用品やキズ補修用品、車内小物が好調で、12月の広範囲な降雪によりタイヤチェーン、雪用ワイパーなどの冬季用品も伸長いたしました。

また、プライベートブランド商品においては、「AQ.（オートバックスクオリティ.）」や「GORDON MILLER（ゴードンミラー）」のラインアップを増やし、商品の魅力度を向上させました。加えて、店舗におけるオペレーションの改善を進めるとともに、売場やピットなど、ハード面のリノベーションも継続して進めております。

車検・整備は、お客様との接触機会を減少させる取り組みとして、WEBや電話の予約を推進いたしました。上半期は、国内の車検対象車両台数が少なかったことが影響し苦戦いたしました。10月以降は車検対象車両台数が多くなったことにより好転いたしました。これらにより、車検実施台数は前年同期比0.4%減少の約455,000台となりました。

車買取・販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、上半期は売上が大きく減少いたしました。10月以降は回復いたしました。これらにより、国内オートバックス事業における総販売台数は前年同期比8.8%減少の約21,000台となりました。

国内における出退店は、新規出店が2店舗、退店が4店舗であり、2020年3月末の585店舗から583店舗となりました。なお、12月末のカーズ加盟店舗は2020年3月末の400店舗から402店舗となりました。

これらの結果により、当第3四半期連結累計期間の国内オートバックス事業の売上高は1,395億52百万円（前年同期比3.5%減少）となり、セグメント利益は155億32百万円（前年同期比11.0%増加）となりました。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は76億50百万円（前年同期比16.9%減少）、セグメント損失は45百万円（前年同期は1億54百万円のセグメント損失）となりました。

小売・サービス事業、卸売事業ともに、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に伴う各国政府の規制により、店舗休業および限定営業や外出自粛の影響を受け売上が減少いたしました。規制解除された国においては、概ね売上は回復傾向となりました。10月に再び感染が拡大したフランスにおいては、政府の要請により10月中旬からの夜間外出制限や10月末からのロックダウンが発令されたことによる影響を受け、売上が減少いたしました。シンガポールにおいては、シンガポール国内の経済活動低迷により、嗜好品であるアクセサリや、移動距離の減少によるタイヤの需要が低下したことなどから、売上が減少いたしました。オーストラリアにおいては、外出自粛により卸売が減少いたしました。7月以降はロックダウン解除による反動需要などにより、カーエレクトロニクスや無線機などを中心に前年を上回る売上となりました。タイにおいては当社が卸売事業に注力するため、2020年10月に当社連結子会社のSIAM AUTOBACS Co., Ltd.（以下、SAB社）の株式の一部をPTG Energy Public Company Limitedに譲渡し、2020年12月、SAB社の少数株主が保有する株式を取得することで、SAB社を当社の持分法適用関連会社とし、現地パートナーによる店舗運営に移行いたしました。

これらにより、海外事業における売上は減少いたしました。各国の政府による法人向けの支援制度を可能な限り利用するとともに、家賃減額交渉などによる経費の削減に努め、セグメント損失は前年より縮小いたしました。

海外における出退店は、新規出店が2店舗、退店が2店舗であり、合計45店舗となりました。

〔ディーラー・BtoB・ネット事業〕

ディーラー・BtoB・ネット事業における売上高は315億53百万円（前年同期比6.9%増加）、セグメント利益は1億49百万円（前年同期は66百万円のセグメント損失）となりました。

輸入車ディーラー事業は、2019年4月に設立した輸入車ディーラー事業を統括する株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングスの子会社である株式会社モトーレン栃木の経営体制を6月に刷新し、さらなる体制整備を行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により、来店客数が減少いたしました。6月以降は客数の回復に伴い商談件数が増加し、売上も回復傾向となりました。

BtoB事業は、年度当初の外出自粛により取引先の事業活動が制限され売上が減少いたしました。卸売需要の回復と新規取引獲得に向けた営業活動を徐々に再開したことにより、売上も回復傾向となりました。また、卸売を中心とした子会社2社においても同様に回復傾向となり、子会社が運営するネット販売に関しては好調に推移いたしました。車検・整備・板金事業等を行う子会社2社においては、堅調に売上が推移いたしました。

ネット事業は、緊急事態宣言中における店舗受け取りサービスを中止したことなどにより、取り付けを伴う商品などを中心に4～5月の売上は減少いたしました。6月以降は店舗受け取りを再開し売上が回復いたしました。また、8月に自社ECサイトのリニューアルを実施し、お客様の利便性の向上につとめております。

〔その他の事業〕

その他の事業における売上高は25億99百万円（前年同期比21.8%増加）、セグメント損失は2億18百万円（前年同期は2億30百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,233	35,854
受取手形及び売掛金	21,963	38,947
商品	20,774	20,651
未収入金	18,969	29,034
その他	8,360	8,657
貸倒引当金	△73	△76
流動資産合計	98,227	133,067
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,519	21,992
その他(純額)	20,605	20,282
有形固定資産合計	42,124	42,274
無形固定資産		
のれん	1,880	1,832
その他	4,975	5,264
無形固定資産合計	6,856	7,097
投資その他の資産		
差入保証金	13,324	12,971
その他	12,501	14,446
貸倒引当金	△234	△47
投資その他の資産合計	25,591	27,369
固定資産合計	74,572	76,741
資産合計	172,799	209,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435	32,921
短期借入金	1,880	5,676
未払金	13,927	19,802
未払法人税等	1,311	2,822
その他	6,577	6,759
流動負債合計	36,131	67,983
固定負債		
長期借入金	933	2,744
引当金	42	57
退職給付に係る負債	3,238	3,303
資産除去債務	2,232	2,297
その他	10,254	9,729
固定負債合計	16,701	18,132
負債合計	52,833	86,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,297	34,297
利益剰余金	59,110	61,681
自己株式	△7,771	△7,746
株主資本合計	119,635	122,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,550	2,115
為替換算調整勘定	△16	231
退職給付に係る調整累計額	△1,917	△1,745
その他の包括利益累計額合計	△383	602
非支配株主持分	714	860
純資産合計	119,966	123,693
負債純資産合計	172,799	209,809

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	176,639	171,434
売上原価	120,430	115,321
売上総利益	56,208	56,112
販売費及び一般管理費	47,336	45,645
営業利益	8,871	10,467
営業外収益		
受取利息	48	39
受取配当金	65	54
持分法による投資利益	450	317
情報機器賃貸料	543	531
その他	811	922
営業外収益合計	1,920	1,866
営業外費用		
支払利息	56	50
情報機器賃貸費用	593	491
固定資産除却損	33	46
その他	632	464
営業外費用合計	1,316	1,052
経常利益	9,475	11,280
特別利益		
段階取得に係る差益	93	—
特別利益合計	93	—
特別損失		
減損損失	177	90
固定資産除却損	155	—
商品自主回収関連損失	141	—
特別損失合計	475	90
税金等調整前四半期純利益	9,093	11,189
法人税、住民税及び事業税	2,649	3,656
法人税等調整額	161	△93
法人税等合計	2,811	3,563
四半期純利益	6,282	7,626
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,237	7,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	452	560
為替換算調整勘定	△106	238
退職給付に係る調整額	84	171
持分法適用会社に対する持分相当額	5	47
その他の包括利益合計	435	1,018
四半期包括利益	6,718	8,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,676	8,357
非支配株主に係る四半期包括利益	42	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート ボックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ ネット事業	その他の 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	143,096	8,981	22,797	1,763	176,639	—	176,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,502	225	6,719	370	8,817	△8,817	—
計	144,598	9,207	29,517	2,133	185,457	△8,817	176,639
セグメント利益又は 損失(△)	13,992	△154	△66	△230	13,540	△4,668	8,871

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,668百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ ネット事業	その他の 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	137,558	7,265	24,472	2,138	171,434	—	171,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,994	385	7,081	460	9,921	△9,921	—
計	139,552	7,650	31,553	2,599	181,356	△9,921	171,434
セグメント利益又は 損失(△)	15,532	△45	149	△218	15,417	△4,950	10,467

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,950百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、社会・クルマ・人の暮らしの変化を捉え、適応することで市場競争力を高めるため、今後の当社グループの方向性を示す「5ヵ年ローリングプラン」を掲げ、カー用品およびサービスのアフター業界におけるプラットフォームとなることを目指し、6つのネットワーク(「マルチディーラーネットワーク」、「サービスピットネットワーク」、「次世代整備ネットワーク」、「カー用品販売ネットワーク」、「海外アライアンスネットワーク」および「オンラインネットワーク」)の確立と連携を図っております。

この「5ヵ年ローリングプラン」実現のため、当社は、第1四半期連結会計期間において、新たな事業の開発、推進のためのさらなる体制整備を行ったことにより、従来、「国内オートバックス事業」に所属していたICTプラットフォームを推進・管理する部門を「ディーラー・BtoB・ネット事業」に、ライフスタイル事業等を推進・管理する部門および一部の連結子会社を「その他の事業」に、それぞれ移管いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。